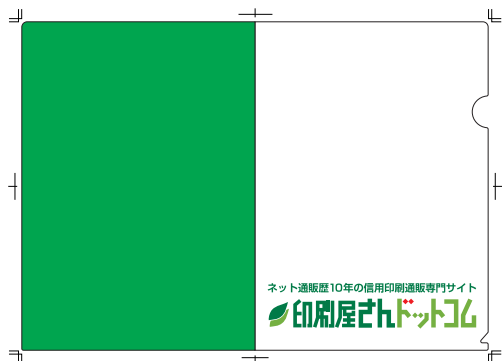
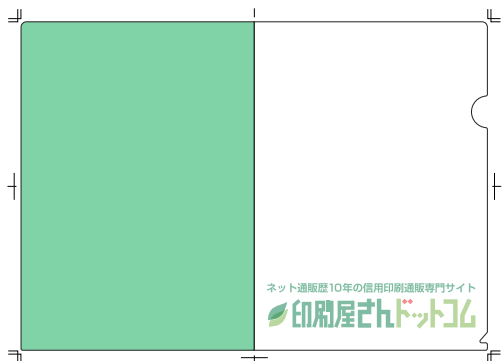


白打ちデータ制作時の注意点

ポリプロピレン(PP)は透明または半透明の素材になりますので、何も印刷されていない部分は無色透明、写真等の絵柄が印刷されている部分も半透明の透けた(薄い)仕上がりになってしまいます。そこで、**絵柄の下に白色を印刷することによって、透けにくくします。**これを「白打ち」といいます。



「白打ちあり」の場合



「白打ちなし」の場合

※カラー(CMYK)データと、別レイヤーまたは別ファイルにて白打ち用のデータをご入稿下さい。

※白打ち用のデータはK版(黒)で作成して下さい。

※ご注文の際には、JPGなどの画像形式でカラーデータと白打ちデータ、それぞれの出力見本をご送付下さい。

● 白打ちデータの作成方法 ●

PP素材は印刷時に伸縮が起きますので、絵柄と同じ大きさに白打ち用のデータを作成しますと、ズレによって白がはみ出てしまいます。

そこで、白打ち用のデータは、絵柄より「-0.1mm」オフセット(内側に入れる)します。

1) カラー版と同じファイル内で新規レイヤーを制作して「白打ち版」と名前をつけて下さい。

2) 白打ちが必要なオブジェクトを選択し、
「コピー」→「白打ち版レイヤー」に「前面ペースト」し、
「オブジェクト」→「パス」→「パスのオフセット」を選択します。
オフセット値を「-0.1mm」と入力し、OKを押します。

※複雑なオブジェクトや線を白打ち版にする場合は、パスのオフセットをする前に、「オブジェクト」→「パス」→「パスのアウトライン」をかけ、「ウインドウ」→「パスファインダー」→「合体」でオブジェクトを単純化して下さい。

3) オフセットされたオブジェクトの背面に重なっている元の大きさのオブジェクトを削除します。

4) 塗を「**K100%**」にして出来上がりです。

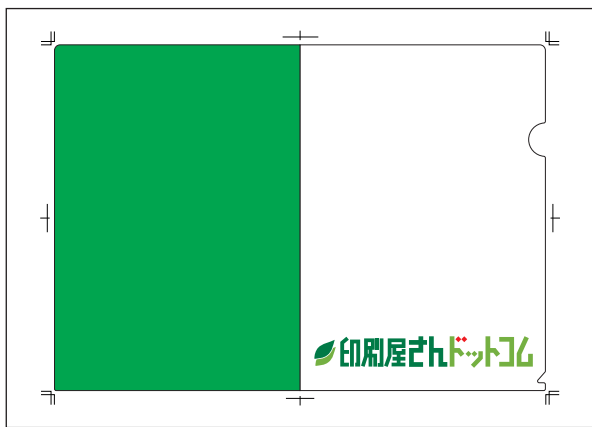


●印刷屋さんドットコム：元の絵柄データ

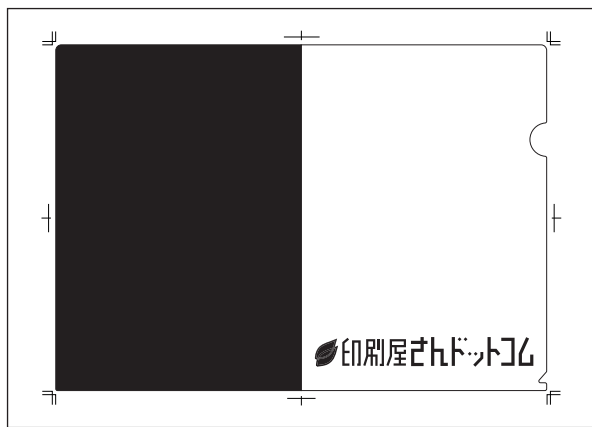
●印刷屋さんドットコム：白打ちデータ

印刷屋さんドットコム

■カラー(CMYK)版



■白打ち版



【ご注意!】

ポリプロピレン(PP)の性質上、まれにズレが生じることがございます。

このズレを最小限にするためにも、白打ち用データは上記方法にのっとり、制作下さい。

※少々ズレが生じることは、何卒ご了承下さい。

素材の伸びによるズレ

